

## 2023年5月資金需給予想

	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	主要項目	日銀調節
1(月)	▲ 900	▲ 22,800	▲ 23,700	2Y発行▲29,000 償還19,800	国債補完供給48,500・▲44,100
2(火)	▲ 400	▲ 13,800	▲ 14,200	交付税借入▲13,000 償還13,000	国債補完供給44,100・▲31,600
3(水)				憲法記念日	
4(木)				みどりの日	
5(金)				こどもの日	
6(土)					
7(日)					
8(月)	2,500	▲ 33,100	▲ 30,600	税・保険料揚げ TB3M発行▲63,000 償還60,000 流動性供給▲5,000	CP買入▲200 国債補完供給31,600・▲41,000
9(火)	2,900	▲ 4,700	▲ 1,800		国債買入12,800 CP買入▲200 国債補完供給41,000
10(水)	1,500	▲ 28,000	▲ 26,500	TB6M発行▲40,000 償還38,900 10Y発行▲27,000	全店共通(固) ▲10,900
11(木)	2,000	▲ 2,000	0		
12(金)	500	▲ 12,000	▲ 11,500	源泉所得税 社会保障の払い 30Y発行▲9,000	被災地支援▲900
13(土)					
14(日)					
15(月)	1,500	▲ 6,000	▲ 4,500	TB3M発行▲63,000 償還60,000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲3,000(見込) 個人向け3・5Y 償還400	
16(火)	2,000	▲ 26,000	▲ 24,000	5Y発行▲25,000	CP買入4,000
17(水)	1,500	▲ 2,000	▲ 500	交付税借入▲13,000 償還13,000	
18(木)	▲ 500	▲ 13,000	▲ 13,500	20Y発行▲12,000	
19(金)	1,000	▲ 2,000	▲ 1,000		
20(土)					
21(日)					
22(月)	1,000	▲ 8,000	▲ 7,000	TB3M発行▲63,000 償還63,000 TB1Y発行▲35,000 償還32,000 変動15Y償還2,000 流動性供給▲5,000 エネルギー-借入▲8,400期日8,000	
23(火)	1,500	▲ 2,000	▲ 500	交付税借入▲13,000 償還13,000	社債買入1,000
24(水)	▲ 500	▲ 3,000	▲ 3,500	10Y物価連動発行▲2,500	
25(木)	1,000	13,000	14,000	国有林野借入▲590(見込)期日590	
26(金)	▲ 500	5,000	4,500	財政融資資金(地方貸し) 40Y発行▲7,000	新型コロナ▲5,400
27(土)					
28(日)					
29(月)	▲ 500	▲ 2,000	▲ 2,500	TB3M発行▲63,000 償還63,000	
30(火)	1,000	▲ 2,000	▲ 1,000		
31(水)	1,300	8,000	9,300	交付税借入▲13,000 償還13,000	CP買入4,000

計	17,900	▲ 156,400	▲ 138,500
---	--------	-----------	-----------

今月は、8日に税・保険料の揚げ、後期高齢者医療給付費等負担金の払い、12日に源泉税揚げなどが予定されている。このほか、財政融資資金の貸出やエネルギー価格激変緩和対策事業費補助金の払い、特別法人事業譲与税の払い、児童手当の払いなども見込まれる。

主な不足日(見込み) 1日、2日、8日、10日、12日、16日、18日 主に財政等要因

主な余剰日(見込み) 25日 主に財政等要因

## ◆日銀当座預金増減要因（2023年5月見込み）出所：日本銀行

	見込み	前年実績	前年同月比
銀行券要因	17,900	16,033	1,867
財政等要因	▲ 156,400	▲ 173,640	17,240
国債等	▲ 107,100	▲ 109,948	2,848
国庫短期証券等	▲ 12,600	▲ 42,693	30,093
上記を除くその他	▲ 36,700	▲ 20,999	▲ 15,701
資金過不足	▲ 138,500	▲ 157,607	19,107

日本銀行が金融機関等から買入れた国債・国庫短期証券が償還を迎えた場合には、上表の国債等・国庫短期証券等の償還には含まれない扱いとなっている。

## ◆財政資金対民間収支（2023年5月中見込み）出所：財務省

区分	見込み	前年実績	前年同月比	備考
一般会計	29,630	14,667	14,963	
租税	66,190	62,227	3,963	消費税・源泉所得税等の受入
税外収入	6,420	8,404	▲ 1,984	
社会保障費	▲ 23,700	▲ 28,170	4,470	後期高齢者医療給付費等負担金の支払等
地方交付税交付金	▲ 800	▲ 707	▲ 93	
防衛関係費	▲ 2,600	▲ 2,267	▲ 333	
公共事業費	▲ 940	▲ 1,086	146	
義務教育費	▲ 930	▲ 935	5	
その他支払	▲ 14,010	▲ 22,799	8,789	エネルギー価格変動緩和対策事業費補助金の支払等
特別会計	4,300	1,058	3,242	
財政投融资	▲ 11,720	▲ 12,109	389	地方公共団体に対する貸付等
外国為替資金	-	10	▲ 10	
保険	18,990	15,426	3,564	保険料等の受入
その他	▲ 2,970	▲ 2,269	▲ 701	
一般会計・特別会計等小計	33,930	15,726	18,204	
国債等	107,120	109,948	▲ 2,828	
国庫短期証券等	12,630	42,693	▲ 30,063	公募発行見込額約33.0兆円
国債等・国庫短期証券等小計	119,750	152,641	▲ 32,891	
調整項目	▲ 20	▲ 615	595	
総計	153,660	167,751	▲ 14,091	

## ◆2023年5月の主な不足日・余剰日の見込み

主な不足予定日は、1日（2Y発行）、2日（税・保険料揚げの前倒し）、8日（税・保険料揚げ）、10日（10Y発行）、12日（源泉税揚げ）、16日（5Y発行）、18日（20Y発行）。一方、主な余剰予定日は、25日（財政資金の払い）。

## ◆2023年5月の短期金融市場予想

### ●コール市場

無担保コール市場については、4月下旬以降、G1レポレートの低下を受けて出合い水準が急速に低下した。直近では金融政策決定会合やGWなど大きなイベントが通過したものの、引き続き▲0.07%前後での出合いが中心となっている。今後は、積み最終日に向けてやや上昇する事も想定されるが、大きな上昇は見込まれない。5月積み期となる16日以降は、基準比率がやや低下する事が予想される。調達量についても若干減少する事が見込まれる中、4月積み期の流れもあり、引き続きやや低めの水準での取引が中心になると思われ、当面の無担保コールO/Nは▲0.07～▲0.04%程度での推移が予想される。10日に発表される、5月積み期間に適用される基準比率は、各種オペの金額次第ではあるが、68.5%前後と予想する。

### ●CP市場

CP市場は、発行残高が3月末に19兆円台まで減少したものの、期明け以降は緩やかに持ち直し、直近では24兆円台での推移となっている。製品への価格転嫁が進んでいる事や資源価格の落ち着き、社債の発行再開などにより、急速な増加は見込まれないものの、引き続き企業の資金調達ニーズは根強い。今後は、法人税や配当金、賞与の支払いに備え、緩やかな増加が見込まれる。発行レートは、引き続き小幅なプラスレートが中心となる見込みである。ただし、発行残高の多い銘柄や期間が長いものに関しては、投資家が限定されるため、上昇圧力が掛かりやすい。

### ●短国市場

短期国債市場については、4月の金融政策決定会合を通過したものの、引き続き金融政策の動向に不透明感が残る事で、一時的な退避資金の流入や担保ニーズ、海外からの需要などが相俟って、レートは総じて▲0.10%台半ばでの推移が続くと予想される。短国買入オペに関しては、引き続き1,000億円程度での実施が見込まれる。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目録見書をよくお読みください。